

Title	新年のごあいさつ
Author(s)	高杉, 豊; 辻野, 守典; 村田, 良輔 他
Citation	makoto. 2000, 109, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85847
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

新年のごあいさつ



大阪府保健衛生部長

高 杉 豊

新年あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、長年にわたりワクチン・抗毒素等の安定供給や情報提供などの予防接種事業並びに建築物メンテナンス等の防疫対策事業など、本府の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

本府の保健衛生行政にとりまして平成11年はとりわけ大きな変革の年でありました。明治30年に制定された伝染病予防法は、歴史的背景や社会的状況の変化を踏まえて新たに構築された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に生まれ変わり、平成11年4月1日より、感染症対策の主体が市町村から都道府県に移されました。

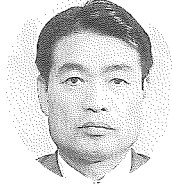
このため、本府では、「感染症の予防のための施策の実施に関する計画」を策定し、感染症発生动向調査体制の強化、感染症の診査に関する協議会の設置をはじめ、感染症患者の入院治療を行う指定医療機関について国の配置基準を上回る指定を行うなど、事前対応型行政の構築や人権に配慮した対応といった新しい体制の整備を積極的に進めてきたところであります。

平成12年も引き続き国や関係機関と連携を密にした総合的な感染症対策に取り組むとともに、現在、公衆衛生審議会感染症部会において改正が検討されております予防接種法につきましても、国の動向をみて迅速に対応するなど、「健康都市・大阪」の実現を目指してなお一層努力を続けてまいります。

今後とも、防疫対策や予防接種事業に対する貴協会の知識や経験、高度な技術を遺憾なく発揮していただき、府民の健康づくりにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様のご健康、ご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



財団法人 大阪防疫協会

理事長 辻 野 守 典

明けましておめでとうございます。

昨年とは何かとご指導ご鞭撻賜りまして、有り難うございました。

本年もよろしくお願い申し上げます。

日本経済の情勢は回復基調にある昨今ではありますが、設備投資の低調や、為替動向などの不安定要因により楽観を許さない状況にあります。

自由化と規制緩和の流れは、銀行を初めとする金融業界、自動車、石油業界等に提携と合併の動きが急であり、世界的な規模での再編の嵐が日本を巻き込んで進行しております。

企業の統廃合や、リストラによる人員の削減の問題は、今後雇用問題において深刻な事態が予想されます。

このような流れは、我々公益法人の事業運営にとっても非常に厳しい時期に入ったと考えられます。当協会も社会の変化に対応すべく、一般企業との競争に耐えうる体質の変革のために、職員一人一人の意識改革と行動力を強化して、体力の増進に努めて参りますと共に、事業の再構築に取り組んで行かなければと、決意を新たにしております。

ところで、今年はコンピューターが誤作動を起こす西暦2000年問題の年に当たります。行政や企業はプログラムの修正のため、多くの時間と人と費用を費やして、問題が起こらないように対策を行って来た結果、去る10月26日、政府は金融、エネルギー、情報通信、交通等大きな混乱は生じないと発表し、10月29日には、2000年問題での万一の事態に備えて食料、飲料水の備蓄や電話利用の自粛など、11項目の留意事項を決定し国民に呼びかけました。

万一の場合の対応策如何によっては、結果に大きな違いが生じることは言うまでもありません。大した事態が起きないことを祈るものであります。

新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

村田 良 輔

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様の御多幸と御繁栄を心からお祝い申し上げます。

旧年中は、本市の環境保健行政の推進に格段の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市では、地方分権の先端都市を目指すとともに、関西圏の中核都市として、環境問題など様々な課題に取り組んできたところでございます。そして、まちが華やぐ「国際集客都市」、ひとが輝く「生活魅力都市」を新しいまちづくりの目標にかかげ、国内外から多くの人々が訪れ楽しんでいただくために、ベイエリアの開発とともに2001年の開業をめざす「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」の建設など、魅力都市大阪の実現に全力を注いでおります。また、2002年のワールドカップ・サッカー開催、2008年オリンピック誘致にふさわしい都市を目指しております。

一方、市民の皆様はもちろん、大阪を訪れた多くの方々に、衛生的で快適な都市生活を送っていただくためには、O-157や結核といった新興・再興感染症に対する防疫対策や建築物メンテナンスを始めとした環境衛生の確保は都市基盤の大きな柱であり、ますます重要性を増しております。本市においてはこれらの課題に積極的に取り組むとともに、急速な人口の高齢化や出生率の低下など生活環境の変化に対応するため、本年4月より全市域を所管し広域的・専門的・技術的機能を果たす1保健所と地域に密着した保健衛生サービスを提供する24保健センターという地域保健体制で環境保健行政の推進を図ってまいります。

これら事業の推進にあたり、貴協会がこれまでに培われてきた環境整備における豊富な知識、経験と高度な技術は、私どもといたしましても誠に心強いものであり、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市環境保健局衛生部長

鍋 島 道 雄

あけましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

21世紀までいよいよ1年を残すところとなりました。

長引く低経済成長のもとで、急速な少子・高齢化や高度情報化の進展、価値観や生活様式の多様化など大きな社会経済情勢の変化が進んでいます。私ども保健衛生行政に携わる者にとっては、介護保険制度の開始をはじめ、保健・福祉・医療のサービス提供の根本的なあり方をめぐり、大きな転機が訪れています。

一方では、未だ有効な治療法が明らかでないエイズなどの新興感染症や昨年7月の国の結核緊急事態宣言に代表される再興感染症の問題など、住民の生命と安全の確保に向けた体制の確立が望まれております。

このようななか、本市では一昨年に「健康都市・堺」をめざすことを宣言、昨年はこれを受けて「健康まちづくりビジョン」を策定、市の優先施策として市民の1人ひとりがいきいきと健康を実感できるまちづくりを進めようとしているところです。

本年4月には、待望の6支所体制も整い、各支所区域ごとの地域拠点保健施設として保健センターを開所、保健・福祉・医療の一体的なサービス提供を開始します。また、全市的な市民の健康危機管理の中核と期待される堺保健所も設置の運びとなります。

このような時期に、貴協会が培われてきた豊富な知識や高度な技術力は、本市にとりましても誠に心強いものです。今後とも一層のお力添えをお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍をお祈りいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長
大西 晴 雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしいお気持ちで新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、国際交流の進展などに伴って、我が国には存在しない感染症や衛生害虫等の侵入といった問題に対応する必要性が生じており、WHO（世界保健機構）も、「今や地球規模で感染症による危機に瀕している。もはやどの国も安全でない」と警告しています。近い将来克服され则认为られてきた結核、マラリア等感染症（再興感染症）が再び脅威を与えています。ご存じのように、昨年7月には厚生省が「結核緊急事態宣言」を行い、正しい知識の啓発、健康診断の実施などその発生予防に努めているところです。

こうした新しい時代の感染症対策に対応するため、「感染症新法」が制定され、感染症の発生・拡大に備えた事前対応型行政システムの構築が確立されたところです。

本市では、この4月から1保健所3保健センターに組織を整備するとともに、健康危機管理についても迅速かつ専門的に対応できるよう検討しているところです。特に、生活衛生業務は市民の生活に密接に関する分野で衣食住の全般にわたって市民の健康被害を防止することを使命としており、食中毒予防や住環境、ねずみ衛生害虫対策などの充実に努めなければなりません。

今後とも、本市衛生行政をさらに推進させていくため、豊富な実地経験により高度な知識・技術を培われている貴協会のなご一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



財団法人
阪大微生物病研究会
理事長 務 基 方 彦

財団法人大阪防疫協会の皆様、おめでとうございます。いわゆる2000年問題に対処する緊張した越年でありました。

2000年は、我国においても、コンピューターによる情報革命が一層進み、私たちの社会生活に大変革をもたらします。いわゆる顔の見えない社会に対する文化に如何様に対処するか、課題であります。

当財団は、感染症の予防、治療の研究を実用化し、1900年代には、社会的貢献を果たして参りました。20世紀後半から発展しました分子生物学によるDNA科学のインパクトは、次元の異なる学問の発展と産業を創造しております。ワクチンの研究、事業にも新しい予防、治療ワクチンの開発が要求されます。

ワクチンにより天然痘が地球上から無くなりました。ポリオ流行は数ヶ国を残すのみになりました。麻疹もアメリカ大陸では新しい患者が発生していません。しかし日本ではワクチン接種率が70パーセント台で患者の発生が続いており、麻疹輸出国です。世界第ⅡのGDP国として恥ずかしいことです。一夜にして、日本からアメリカ、ヨーロッパに旅する時代です。各大陸から日本に新しい感染症が容易に上陸できる時代です。加えて発展途上諸国における人口の増大は、森林地帯を開拓し、森に住む動物との接触機会を多くし、HIVのような新感染症を生みました。日本においても肺結核の集団発生の見られるように、旧感染症に対しても、正しい対処が必須であります。新興再興感染症の対策が、望まれております。

私ども微研財団は、設立の原点を忘れることなく、理事・職員一同、新しい2000年に船出して参ります。皆様のご叱声をいただき度くお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げご挨拶と致します。

新年のごあいさつ



株式会社
大阪府食品流通センター

代表取締役社長 杉本信夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご健勝のうちに新しい年をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、大阪府中央卸売市場及び加工食品売場の防疫・消毒作業に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は、平成の初期から始まった長い低迷が、本年はいよいよ最終的な局面に入っているのではないかと期待しております。

振り返れば9年度に実質成長率が23年ぶりにマイナスとなり、10年度もマイナス成長でこの異常事態を経済危機とさげられました。

その一つには、個人消費が必要以上に萎縮したことから、超氷河期といわれる就職難やリストラによる失業率の増加により雇用をめぐる環境は一段と厳しくなり、金融面で、60兆円の公的資金の導入で、貸し渋りがなくなったかといえば疑問であります。

国際社会では、政治・経済・情報・文化等の活動が国境を越え地球規模で行われるようになり、その結果として本格的なグローバル化の時代が到来しております。

私ども食料品の供給基地である中央卸売市場を管理する者として、年末の活況が本年の仕事始めへと引き続き、大量の初荷が消費され、景気の回復へと向かうことを願っております。

また、消費者の食品に対する安全志向が高まってきた現在の現在、市場の衛生管理が重要となっており、貴協会の優れた技術力に託すところは多大であります。

最後になりましたが、今後とも当社事業になお一層のご協力を賜りますことをお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展と皆様方のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

